

文書分類番号	00	09	03	002	永年	起案	令和	年	月	日	決裁	令和	年	月	日
議長	副議長	局長	副主幹	係長	主査	担当							文書取扱主任		

## 第4回 総務文教常任委員会 会議録

開催年月日	令和5年6月27日(火曜日)	開会9時56分	閉会10時34分
開催場所	第二・第三委員会室		
出席委員	安樂、荻野、高橋、好川、木下、三上、山口、柴田	事務局	深村局長
	関藤		壽崎副主幹
欠席委員	福井		山本主査
説明員	別紙のとおり		
議件	別紙のとおり		
議 事 の 概 要	1 所管からの報告事項について		
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、報告済みとした。		
	(1) スマイルビルの取得に向けた検討経過について		
	2 その他について		
	なし		
	3 次回委員会の日程について		
	7月7日(金)午前10時00分から開催することに決定した。		
	上記記載のとおり相違ない。 総務文教常任委員長 安樂良幸 ㊞		

## 第4回 総務文教常任委員会

R5.6.27 (火) 10:00～

第二・第三委員会室

開 会 9:56

委員長 おはようございます。ただいまから第4回総務文教常任委員会を開会いたします。

### 委員動静報告

委員長 委員動静であります。福井委員から欠席の申出を受けております。議長に出席をいただいております。寄谷議員、藤田議員の傍聴を許可しております。報道として、株式会社北海道新聞社及び株式会社空知新聞社の取材を許可しております。

### 1 所管からの報告事項について

委員長 それでは、所管からの報告事項について、駅周辺整備部、(1)スマイルビルの取得に向けた検討経過について説明を求めます。

#### (1) スマイルビルの取得に向けた検討経過について

加地部長 (別紙資料に基づき説明する。)

山下係長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑ございますか。

柴 田 通常の取引という観点でいえば今のご説明で十分理解はできるところなわけですが、左側のその他の部分で不動産差押え、滝川市となっている状況から、書面で見るとは違った視点で今回の取得を受け止めております。平成3年というちょうど林政権が誕生した年なのかなと思います。それ以来長く引きずってきた問題で、解決の糸口が今ここに示されているということが高く評価する1人なのですが、滝川市民にとって1億3,000万円という数字が本当に適正なのかどうかというと、この書面を見る範囲では適正に見えますけれども、内在する税の問題等々を含めると、市民にはこの数字の受け止め方は微妙なのだろうなと。具体的なことを聞こうとは全然思っていないのですが、そういった意味で市のほうの受け止めというのは現在あるのでしょうか。

加地部長 今柴田委員のほうからいろいろと今までのスマイルビルに関しての経過ということで、私も平成20年ぐらいからずっと中心市街地の活性化もやりながらスマイルビルとの関係ということで携わってきた経過もある中で、市民の皆さんのいろんなご意見であったり新聞報道であったりという部分を受け止めてきて、何とか将来に向けて前に進めていきたいという思いの中で私も仕事に携わってきたという経過がございます。その中で今回、先ほど担当のほうから説明させていただきましたが、総合計画であったり立地適正化計画であったりの中で市民の皆さんにアンケートを実施させていただいた中で、これからのまちづくりを考えたときには駅前の再生という部分においては必要であろうといったご意見が多々寄せられたと。その中においてもスマイルビルというものにつきましては一丁目一番地というふうに皆さんも受け止められているのではないかと。いうふうに私も思っておりますし、お金のかかることばかりというのは皆さんもご承知のとおりということで、市民の皆さんも十分承知のところがあるかと思うのですが、その中でもこれからのまちづくりをしていくときに、玄関口として今のあの状況を放っておくわけにはいかないであろうという思いの中で、許

されるのであれば今回この金額をもって取得の手續に一步踏み出しをしていきたい。その上で今後の再生のあり方という部分について再度何が必要なのかという部分について、これまで本議会でも様々な機能という方向で都市機能のあり方の部分についてのご議論もいただきましたけれども、そういったところも踏まえながら、人がとにかくあそこに自然に寄っていく。ただ単に通勤、通学だけではなくて、あそこに行けば誰かかれかがいて日常的ににぎわいがあるというような空間を再生していきたいという思いでもありますし、市民の皆さんのご意見という部分においてもそういったことが裏打ちされているのであろうというふうに担当部長としては認識をしているということで答弁に代えさせていただければと思っております。

柴 田

また古い話をするのですが、私が議会に出たのは平成7年で、以来私が議員バッジをつけている限りにおいてこの問題が横たわっていて、極めて滝川市の経済の活性化、地域の活性化の喉にとげが刺さっている状況で滝川のまちづくりが進んできたという意味で、私は今回のこのことについて万歳をしたいぐらい喜んでいて一方で、先ほども申し上げましたけれども、そういった過去の問題について全て市民の皆さんがのみ込んだ上で新たな計画づくりを喜んで眺めていただける、そういうものなのかどうなのかというところを確認したいなと思っております。そういう意味で、先ほど申し上げた税の問題等々も含めて、アンケートの結果を見ても多くの市民がこの事業に対して期待を持っている。行政主導でやってほしい、このようなことを思っている。この結果を見ながら、もう一度お尋ねしますが、市民の皆さんはそれらの問題も含めてのみ込んだ上でスタートを切ることをよしとしていただけると担当部長としてお考えかどうかを確認したいと思います。

加地部長

今ほど柴田委員のほうから担当部長としての思いを持っているのかというような部分もありましたけれども、私としてはそういった皆さんの思いがあるということ、それを受け止めてしっかりと前に進むべきであろうというようなことで、今回の4月以降の担当部署としての設置、6月からこの3人で部という形で設置をいただく中で進めてきているということがありますので、そういった部分において今この問題を抜きに前に進むことはできないであろうと。柴田委員のほうからは税の問題ということが再三言われておりますけれども、私どもとしては税の問題について右だ、左だというようなことについて発言はできません。しかしながら、市民の皆さんにおかれましては、新聞報道等の中で先方様のほうがそういった発言をしているといった報道があったりとか、これまでの経過の中でそういった事実においても議員の皆様方において、過去の経緯の中では事務局のほうから駅前ビルのほうに照会をしたというような経過もあったように伺っております。そういったところからいけば、それぞれの認識はあるかと思っております。その上においても市民の皆さんが今回アンケートの中で前に進もうという部分が回答として寄せられたという事実を無視することはできないだろうというふうに認識をしております。改めて私のほうからは前に進ませていただきたい、そういった認識の中にあるということをお伝えさせていただきたいと思っております。答えになっていないかもしれませんが、私の担当部長としての意気込みは以上です。

委員 長  
高 橋

ほかに質疑ございますか。

今の担当部長のお話で、私は10年前、たきかわホールが廃止される直前に滝川

に来ました。そこからしかスマイルビルを見たことがなかったので、今の意気込みを聞いて、チャンスを逃したくないというのをすごく感じました。このチャンスを逃さないためのこの金額という認識で、新人の私は詳しい経過も報道とか市民のうわさレベルでしか知らないの、このチャンスを逃したらもっと金額が膨らむかもしれないとか、そういう理由で交渉していったこの金額ということではよろしいのでしょうか。

加地部長

金額につきましては、お示しをさせていただいているとおりにということもあります。先方様あってという部分もあります。かつ、今回の場合につきましては抵当権者という形で所有権以外の権利という部分がどうしてもついているというのは、資料の2ページ目の左側のほうでお示しをさせていただいているという状況です。ものを買うときには、相手様が売るといふふうに言っていただければ、こちらとしても買うという話にはならない。かつ、今回の部分においては、抵当権者についても一定程度の理解が得られないと前に進むことができないということがありますので、タイミングという部分においては高橋委員がおっしゃられるとおりに、タイミングを逃したくないというのは当然であります。

平成23年になりますけれども、無償譲受というような部分でのタイミングもありました。しかしながら、成就できなかったということもありまして、約10年以上経過する中で先方のオーナーが替わったりいろんなことがある中で、その後のビルの管理であったりそういった部分に費用を費やしていくことによって、費用の部分においてかかってくるものも生じてくるというふうに認識はしておりますが、これは我々だけで決められる問題ではありませんので、今後置いておくことによってひよっとすると安くなるかもしれないし、ひよっとしたらもっと高くなるかもしれないというようなところで、何ともこちらとしてもその部分についてはお答えのできない、想像の域を脱しないだろうというふうな話になりますので、今の状況の金額という部分においては、先ほどの繰り返しになりますけれども、滝川市であったり関係者のそれぞれの協議の中で一定程度現状において整っている金額ということでご理解いただければというところでございます。

高 橋

もう一つ聞きたかったのが、取得したらすぐに壊すのでしょうか。壊す前に、これからの滝川のことを考えると、同じことをして同じように失敗してしまったら、繰り返してしまったらということが怖いので、一度中を見学して、私は10年前からしか知らないの、西友があった頃とか全然知らないの、そういった部分も学んで次につながっていくようにみんなで検討できたらなと思うのですが、すぐに壊す予定なののでしょうか。

加地部長

取得後すぐ壊すのかというようなご質問ですけれども、すぐに壊すというような判断というのは現在のところしておりません。先ほども申し上げさせていただきましたが、次に何が必要であるかという部分において、にぎわいづくりのためにどんな機能をあそこの箇所において描くことができるのか。現状においても資材高騰であったり、かなり建設コストの部分でかさんでくるであろうということも比較検討しないといけないという事実もありますし、現状の建物、昭和61年の建物ですけれども、ああいった建物の再利用という部分も議論の中、比較検討の中には一定程度加味しながら全体論として検討していかないといけないというふうに感じておりますので、それからいきますと、ご質問

のあったすぐに解体かというふうに問われたときには、現状においては考えておりませんとしか申し上げることはできません。

委員 長  
木 下

ほかに質疑ございますか。

高橋委員の関連質疑なのですけれども、取得後において何年ぐらいをめぐりして再開発を考えているのかだけお聞きいたします。

加地部長

何年後をめぐりという部分のご質疑ですけれども、正直、今のところ何年後ということをお明快にお答えすることはできません。というのは、何をやるかにもよります。あの建物を再利用して大規模改修をしてやるパターンもあるでしょうし、解体して新築していくというパターンもあるでしょうし、もしくはあそこの場所だけでは足りないというような用途のものになったときにはそのほかの部分も考えていかないといけないというようなことも考えの中には可能性として出てくるということがございます。ですので、まだ予算の議決もいただかない今の段階においては、5月24日の臨時会の中で予算を計上させていただいてお認めいただいておりますけれども、そういった部分においては今後のあり方という検討業務を並行的に進めております。駅周辺エリアのあり方、そういったものと兼ね合いを持ちながら、全て我々滝川市だけの財源で賄えるものなのか否かというのもありますので、国の交付金と時間軸の関係、そういったものも加味しながら検討していかないといけないということになりますので、木下委員からのご質疑に対して明快に5年後です、10年後ですというようなことについてはお答えできないということでご容赦いただければと思います。

委員 長  
好 川

ほかに質疑ございますか。

今の理事者側の説明で賛成する立場でお話ししたいのですけれども、物すごい長い時間かけて今ここにたどり着いたということで、私の評価というのは一歩踏み出したということでもあります。今木下委員が話したように、私どももこの先どうなるのだろうというのは当然考えていかないといけないのですけれども、その前に一歩踏み出したということに賛成する立場の意見であります。今後のことについてはいろんな議論があると思いますので期間というのは分かりませんが、私としては一歩が大事だろうというふうに考えておりましたので、意見として述べさせてもらいます。

柴 田

何度もすみません。皆さん今後のことを随分聞いているものだから気になって、そういう質疑も許してもらえるのだなということで質疑させていただくのですが……

委員 長

ちょっと待ってください。今後のことはまだ決められないというふうに答弁されているのですけれども。

柴 田  
委員 長  
柴 田

いやいや、そうではなくて。いいですか。

どうぞ。

先ほど部長のお話の中で駅周辺整備部3名とあえて言ったのかなと思ったのですけれども、体制的に駅周辺整備部自体が現状でこれからの大きな作業を行っていくのには少々、能力のことを言っているのではなくて人手の部分と、先ほど部長が国ということもお話しになりましたよね。当然国のご支援も今後いただかないと、我々が描いているような、そういう将来には結びついていかないのではないかなと現時点で私は思っているのですが、そういった意味で国からの人的な支援等々について今後要請していくという、部のほうでそういうことをやるわけではないので市長に本当はお聞きしないと駄目なのですけれども、

その点について部長のほうで現在お考えがあるのかどうなのかをお伺いしておきたいと思います。

加地部長

柴田委員のほうから今ほど人員の関係ということで、あえて3名と言ったつもりはないのですけれども、これも部設置条例のときに本会議の中でご質疑があって、我々市長部局として答弁をさせていただいているかと思うのですが、事業における熟度というものがありますので、熟度の状況も見ながら、必要な際には担当部としても、市長部局内部での話ですけれども、人員調整の部分について図っていただきたいというような要請、要望を人事部局のほうに調整は図っていききたいというふうに考えております。しかしながら、すぐに国とか北海道から協力支援という形で人員が来るかということ、そういった部分については時間を要するということがありますので、我々3名では心細いというか、事業もすんなりいかないのではないかなというようなご議論もあるかと思うのですが、庁舎内には各担当セクションがありますので、担当セクションと連携をしなければ今回の部分、仮に事業に移った際には何十年に1度起きるかぐらいの大きな事業というふうに認識をしておりますので、そういった体制も十分に協力を仰ぎながら進めていきたいというのが担当部長としての思いです。

委員長  
三上

ほかに質疑ございますか。

市民が一番気にするのは、私は聞いて知っておりますけれども、これまであの建物を、ここに書いていますけれども、民間主導で再生するためにどのようなアクションを起こしてきたのだということだと思うのです。それができなかったから行政として取得に今動き出しているということなのですが、その辺の部分を説明いただければと思います。

加地部長

三上委員のほうから民間主導による再生をどう目指してきたかということのお話がありましたけれども、滝川市としては中心市街地活性化基本計画に基づきまして、公共として中心部をいかに盛り上げるかというところでは、近くの建物でいけばまちづくりセンターであったり、公営住宅という部分では栄町団地であったり、もしくは目の前にあります市立病院であったりということで、中心市街地活性化の取組の中では公共として手だてができるものをまずは先導的に進めていくと。その上で民間サイドでお持ちのものについても、それに呼応する形で何とか盛り上がっていくというか、開発が進むのではないかなというようなことでの動きを行ってきたということもございます。あと、ベルロードの個店の部分においてもリノベーション事業であったりということで、空き店舗をとにかく埋めていかないといけないというような部分で新規出店者を募るだとか、そういった部分の捉え方もしてきたという状況です。

では、ビルそのものについてどうなのだとすると、言える部分と言えない部分というのがあるかと思うのですが、言葉的にはあれかもしれませんが、放置をしてきたというようなことで一般的には見られるかもしれませんが、当時私としても担当している中ではあらゆる手法というか、あらゆる人脈等も使いながら民間サイドとしてあのビルについての突破口がないかというようなことでの、表では言える話ではないかもしれませんが、そういった交渉とかそういった部分について実施してきたというのは、何もしていないというふうに見られるかもしれませんが、決してそうではないという部分においては自負として思っておりますので、そのような対応を図ってきたという経過はあるのだということをご理解いただければと思っております。

委員長 ほかに質疑ございますか。  
(なしの声あり)

委員長 それでは、(1)については報告済みといたします。

## 2 その他について

委員長 その他について委員のほうから何かございますか。  
(なしの声あり)

委員長 所管のほうからは何かありますか。  
(なしの声あり)

委員長 事務局のほうからは何かありますか。  
(なしの声あり)

## 3 次回委員会の日程について

委員長 次回委員会の日程であります、7月7日金曜日午前10時に第二・第三委員会室で実施をいたします。

以上をもちまして第4回総務文教常任委員会を閉会いたします。

閉 会 10:34

## 第4回 総務文教常任委員会

日 時 令和5年6月27日(火)  
午前10時00分  
場 所 第二・第三委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶(委員動静)

1 所管からの報告事項について(◎印は議案関連)

《駅周辺整備部》

(1) スマイルビルの取得に向けた検討経過について (資料) 駅周辺整備課

2 その他について

3 次回委員会の日程について

日 時 7月7日(金)午前10時00分  
場 所 第二・第三委員会室

○ 閉 会

令和5年6月23日

滝川市議会議長 山本正信様

滝川市長 前田康吉

総務文教常任委員会への説明員の出席について

令和5年6月20日付け滝議第51号にて通知がありました第4回総務文教常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いします。

記

滝川市長の委任を受けた者

駅周辺整備部長

加地幸治

駅周辺整備部駅周辺整備課係長

山下亮輔

駅周辺整備部駅周辺整備課主任級主事

小諸将司

(総務部総務課法制文書係)